

政策4 安心して暮らせる医療と福祉の充実

■あやの台地区学童保育所整備事業

……………3, 390万1千円
あやの台地区の学童保育利用者の受入れ人数を増やすため、あやの台第3学童保育所の建設工事を行いました。

■文化センター耐震事業

……………423万4千円
施設の耐震化を図るため、伏原文化センター耐震工事のための設計業務や岸上・名古屋文化センターの耐震診断業務を行いました。

■ねんりんピック市実行委員会補助事業

……………192万6千円
本年度の開催に向け、ねんりんピック紀の国わかやま2019橋本市実行委員会が設立され、実行委員会に対し開催準備事業補助金を交付しました。



政策5 確かな学力と生きる力をもった心豊かな子どもの育成

■学文路地区公民館整備事業

……………7, 710万2千円
老朽化した学文路地区公民館の耐震性と利用者の安全確保、および利便性の確保のため建替え工事を行いました。
新しい学文路地区公民館は、9月1日からオープンしています。



■新学校給食センター用器具購入事業

……………8, 542万3千円
橋本学校給食センターと高野口学校給食センターを統合し、新たに建設した橋本市学校給食センターの建設を終え、厨房機器や食器、調理器具などの調達を行いました。

■小学校大規模改造・長寿命化改良事業

……………1億4, 205万5千円
建築経過年数が40年を超える小中学校施設の安全面、衛生面、学習環境面などの向上および学校施設長寿命化のための改修事業を行い、平成30年度は応其・学文路小学校の大規模改修工事や旧学文路幼稚園園舎の解体工事設計業務などを行いました。

政策6 災害に強い安全・安心の豊かなまちづくり

■災害用備蓄品購入事業

……………870万4千円
もしものときに備え、市が保有する災害用備蓄品（非常食・備蓄飲料水・防災用毛布など）を購入し、防災倉庫に格納しました。

■全国瞬時警報システム（J-ALERT）新型受信機購入事業

……………324万円
大規模な自然災害が頻発している中で、市民の迅速かつ確実な避難が可能となるよう、情報伝達に要する処理時間の大幅な短縮や特別警報などの伝達情報 の充実が可能となる新型受信機を購入しました。

■排水ポンプ車購入事業

……………4, 795万2千円
近年多発する台風や集中豪雨が原因で起こる内水氾濫などの被害に備えるため、排水ポンプ車を購入しました。



平成30年度に実施した主な事業

政策1 行財政改革による財政の健全化

■ふるさと橋本応援寄附金事業（歳入）

……………1億4, 647万2千円
市の魅力発信や地域産品などの販売促進を行ったり、寄附受付サイトを増設したりするなど歳入確保に取り組みました。その結果、平成30年度は前年度に比べて寄附の件数が約1.3倍、金額は約1.1倍に増えました。

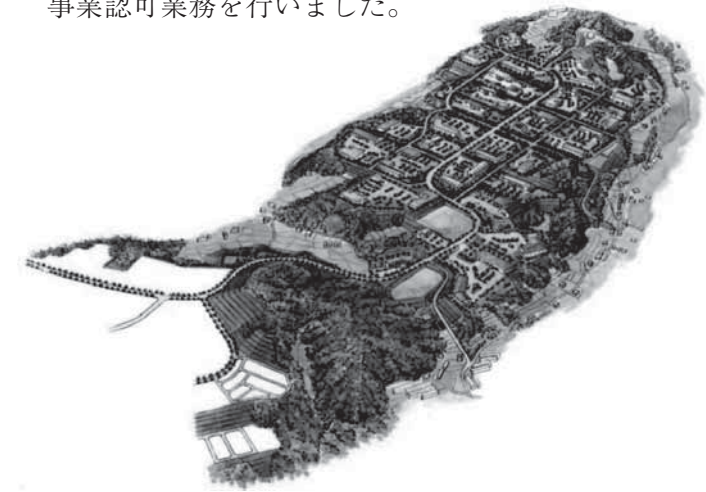
■システム共同利用化事業

……………1, 271万2千円
経費削減や業務効率の向上を目的として、生活保護システムや人事給与システムについて他の自治体との共同利用化・クラウド化（インターネット上での情報管理）に取り組みました。

政策2 地域経済の活性化と地場産業の振興、雇用の拡大

■（仮称）あやの台北部用地開発事業

……………8, 881万1千円
南海電気鉄道株式会社・和歌山県・橋本市の三者が協力し、企業誘致用地を拡大するために、（仮称）あやの台北部用地の開発を引き続き進めています。平成30年度では開発に伴う環境影響評価業務や事業認可業務を行いました。



■広域観光ビジネス共同体（DMO）への観光振興事業

……………1, 380万円
橋本市を含む地域の観光資源や文化資源、歴史的な資源を生かした観光振興を進め、より魅力的で価値のある観光地域づくりに取り組みました。

■空き家移住等応援補助事業

……………20万1千円
市外からの移住推進と空き家の利活用を図るため、空き家バンクへ登録している住宅に賃貸で住み始めた移住者に対して、空き家お試し暮らし応援補助金を給付しました。

■転入夫婦新築住宅取得補助事業

……………1, 450万円
移住およびUターン（地方から都市に移住した人が、再び故郷に戻ることを）を促進するため、新築住宅を取得した夫婦（いずれかが40歳未満）に対して転入夫婦新築住宅取得補助金を給付しました。

政策3 農林業の振興と後継者の育成

■農業次世代人材投資事業

……………2, 248万7千円
経営開始直後の新規就農者の経営の安定化を図るため、国の補助事業を活用し、15農業者に対する給付を行いました。

■ため池緊急防災対策調査委託事業

……………1, 603万6千円
平成25年度から平成27年度に実施した「ため池一斉点検」の結果を踏まえ、優先度が高い6カ所のため池について耐震性能照査業務を行いました。

■橋本市農産物産地化事業

……………94万7千円
橋本市の新たな農産物の産地化を目指し、白ゴマの試験栽培を実施したり、それ以外の農産物についても高野山麓農産物産地化協議会を立ち上げたりして、産地化・ブランド化へ向けた取り組みを行いました。

